

雑紙にチャレンジ！紙類リサイクルをバージョンアップ！

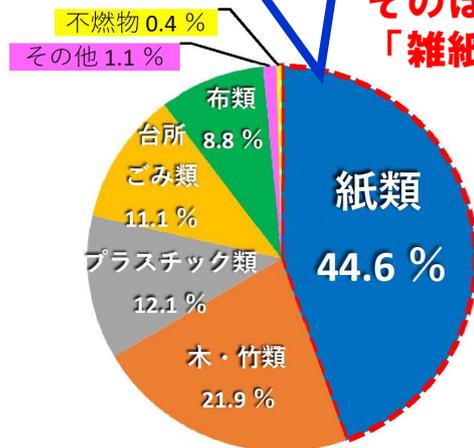
紙類リサイクルの現状と課題

家庭で発生する紙ごみは、主に新聞、雑誌、段ボール、紙パック、雑紙の5種類です。それらのうち、新聞、雑誌、段ボール、紙パックの4種類については、見た目にも分かりやすく、定期的にまとまった量が出るため、月2回の紙類・布類の収集日のほか、自治会やPTA、新聞販売店などによる資源回収を通じて、リサイクルが浸透しています。



雑紙は、ダイレクトメールや投げ込みチラシ、ポスターやパンフレット、カレンダー、封筒、はがき、包装紙、コピー用紙、お菓子やおもちゃの箱、紙袋など、素材や大きさ、用途が文字どおり“雑多”な上、日常生活の様々な場面やタイミングで発生するため、リサイクルがなかなか進まず、可燃ごみとして出されているものが多い状況です。（…過去に京都市が行った調査では、可燃ごみとして処理した紙類の約9割を雑紙が占めていたというデータもあります）

東松山市で令和2年度に処理した可燃ごみの内訳は右の円グラフのとおりで、半分近くを紙類が占めており、その割合は徐々に増えていますので、紙類のリサイクルの新たな取り組みとして、雑紙にチャレンジすることで、可燃ごみをさらに減らしていくことが重要です。



可燃ごみの半分近くは「紙類」そのほとんどが「雑紙」です！

令和2年度 可燃ごみの組成比率

雑紙の集め方

日常生活の様々な場面でアットランダムに出る雑紙は、ついつい“ごみ箱にポイ！”している方が多いのではないのでしょうか？

今までの習慣を見直し、雑紙のリサイクルに取り組むには、**雑紙をストックするための袋**をごみ箱の脇に置くのがお勧めです。紙袋や封筒などの“雑紙”を袋として利用すれば、そのまま出すことができ便利です。



雑紙の出し方

- 雑紙を集めた紙袋や封筒を束ね、ひもでしばって出す。
- メモ用紙やプリントなど小さな紙は、雑誌にはさんで出す。
- ポスターや箱類など大きなものは、たたんで重ね、ひもでしばって出す。

雑紙を出す際の留意点



トイレトーパーやラップの芯はつぶしてください。



ラップの箱はカッターの部分を外してください。



包装紙やポスター、食料品やお菓子の箱は、折りたたんでください。
(粘着テープが貼ってある場合には取り除く。)



メモ用紙や名刺、プリント、コピー用紙など小さな紙は封筒などに入れてください。



カレンダーを綴じている金具、封筒やティッシュの箱の窓枠フィルムなど紙以外の部分は取り除いてください。



封筒やはがき、ダイレクトメールなど個人情報に記載されている部分は、消したり、取り除いたりしてください。(宛名シールは剥がす。)



バインダーやファイルは、金属やプラスチックの留め具の部分を外してください。

リサイクルできない雑紙

× 汚れた紙

× 臭いのついた紙…洗剤の箱、石鹸の包み紙など



× 防水加工された紙

× アルミやビニールでコーティングされた紙

× カーボン紙…宅配便の伝票など



× 感熱紙…レシートなど



× 写真・写真プリント用紙

× 圧着はがき

× 金紙・銀紙

《取り残し？ちょっとお待ちください。》

紙類・布類は市が委託した事業者が複数の車両で収集しています。車両ごとに収集するものが異なりますので、収集作業を見かけた後にも関わらず、クリーンステーションにダンボールや新聞紙など、同一種類のもが手つかずで残されている場合は、収集作業の途中と考えられます。午後4時頃まで様子を見ていただき、それでも残っている場合には、クリーンセンター(TEL34-5550)までご連絡ください。